



# あつま

3月定例会号

No. 171

平成30年5月発行

# 議会だより



## 春季消防演習

第1回定例会、補正予算	2～4
第1回臨時会、全員協議会	5
平成30年度予算を認定	6～10
委員会活動レポート	
総務文教常任委員会	11
産業建設常任委員会	12
一般質問「ここが聞きたい」伊藤富志夫、森田正樹、高田芳和、下司義之、吉岡茂樹 5氏が問う	13～17
議決案件(賛否状況)	18～19
議会のうごき、文化活動団体紹介(華道同好会)	20



その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.

# 3月定例会

第1回定例会を3月7日から15日まで8日間の日程で開催し、町長の施政方針および行政報告、教育長の教育行政執行方針、5人の議員による一般質問のほか、議案35件、承認2件などを審議しました。

また、会期中に予算審査特別委員会が開催されました。(予算については6〜10ページに掲載)

## 議案第12〜15号 条例の制定

次の条例の制定について可決した。(制定理由については5ページを参照)

- 厚真町指定居宅介護支援事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定(議案第12号)
- 厚真町いきいきサポートサロン条例の制定(議案第13号)
- 厚真町担い手研修農場条例の制定(議案第14号)
- 厚真町加賀谷厚三・明美奨学金給付条例の制定(議案第15号)

## 議案第16〜26号 条例の一部改正

次の条例の一部改正について可決した。

- 厚真町個人情報保護条例の一部改正(議案第16号)
- 厚真町非常勤職者の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正(議案第17号)
- 厚真町税条例等の一部改正(議案第18号)
- 厚真町手数料徴収条例の一部改正(議案第19号)
- 厚真町国民健康保険条例の一部改正(議案第20号)
- 厚真町介護保険条例の一部改正(議案第21号)
- 厚真町指定介護予防支援事業者の指定に必要事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正(議案第22号)

## 議案第33・34号 町道路線の廃止・認定

議案第33号  
次の1路線を廃止した。  
〔路線名〕桜丘本線  
〔起点〕字桜丘221番地10  
〔終点〕字桜丘1番地8  
〔延長〕5000m

議案第34号  
次の1路線を町道に認定した。  
〔路線名〕桜丘本線  
〔起点〕字桜丘221番地10  
〔終点〕字桜丘57番2  
〔延長〕4240m

# 平成29年度補正予算

※補正予算、繰越明許費とも万円以下切り捨てて記載しています。

## 除雪対策事業(専決処分)

補正額	2500万円
事業予算額	6000万円
建設課土木G	
除雪作業の実施により、除雪委託料に不足が生じたため。	
平成30年2月15日	1000万円
平成30年3月2日	1500万円
財源内訳	
町の財源	2500万円

## 経営体育成事業

補正額	1414万円
事業予算額	2256万円
産業経済課農林業G	
経営体育成事業助成金。	
財源内訳	
国道支出金	1414万円

## 空き家等対策推進事業

補正額 168万円  
事業予算額 700万円  
建設課建築住宅G

空き家等利活用補助金・空き家等利活用資金貸付金の補正。

財源内訳  
町の財源 168万円

## 総合ケアセンター管理運営事業

補正額 124万円  
事業予算額 2354万円  
町民福祉課健康推進G

総合ケアセンター施設管理に係る燃料費の補正。

財源内訳  
町の財源 124万円

## 校舎維持管理事業(小学校費・中学校費)

【小学校費】 補正額 269万円  
事業予算額 2443万円  
生涯学習課学校教育G

小学校管理に係る燃料費および光熱水費の補正。

財源内訳  
町の財源 269万円

-----  
【中学校費】 補正額 151万円  
事業予算額 2005万円

中学校管理に係る燃料費および光熱水費の補正。

財源内訳  
町の財源 151万円

## スポーツセンター・スタードーム管理事業

補正額 295万円  
事業予算額 2732万円  
生涯学習課社会教育G

スポーツセンターとスタードーム管理に係る燃料費および除雪委託料の補正。

財源内訳  
町の財源 295万円

## 複合型地域福祉活動拠点運営事業

補正額 705万円  
事業予算額 1883万円  
町民福祉課福祉G

複合型地域福祉活動拠点施設運営費の補正。

財源内訳  
町の財源 705万円

### 【質疑】

問 指定管理の決め方は、決算の収支で赤字の補てんを指定管理料にしていくのか。

答 当初の計画があり、その計画について適正な指定管理料がある。福祉系の事業は町として独自の指定管理のルールをつくっている。

問 B型については、町が利用者を想定した計画に満たない分を補てんするのは当然だが、カフェの部分にはコミュニティを持たせているが、赤字全部をみてくださいというのは疑問だ。

答 30年度以降の指定管理料については、赤字も含め債務負担行為を決定いただいた経緯もある。これまでの3年間とこれからの3年間については、考え方を整理し直して、ご理解いただいたと思っている。

問 B型施設の利用者数は、当初4人の計画だったが、最終的に3人であった。その分、給付金が減額になったことは理解できるが、B型の事業展開をしていく上で、就労者の方々の作業における製品の売り上げや、販売にかかる人件費等の部分が大きな根っこになっているのでは。

答 赤字経営の根っこはB型の利用者が少ないということである。基本的に、B型の利用者が例えば10人まで改善しない限りは赤字運営が続くことも事実である。町としては、障がい者の皆さんが社会参画する場所として厚真町の体力で維持できるのではないかと考えている。ただ、このまま何も努力しないで赤字をどんどん垂れ流していくのは我々としても無責任なので、一生懸命、利用者の皆さんに選択されるような条件を整えていかなければならないと思っている。

### 介護サービス給付費(介護保険事業特別会計補正予算〔保険事業勘定補正予算〕)

補正額 2035万円  
 事業予算額 3億9706万円  
 町民福祉課福祉G

介護給付費の増による、地域密着型介護サービス給付費の補正。

#### 財源内訳

国道支出金 802万円  
 その他(介護給付費交付金、介護給付費繰入金、介護給付費支払準備基金繰入金) 1233万円

### いきいきサポートサロン整備事業

補正額 300万円  
 事業予算額 7651万円  
 町民福祉課福祉G

いきいきサポートサロン整備に係る備品購入。

#### 財源内訳

町の財源 300万円

## 平成29年度補正予算(繰越明許費)

### 町営ブロードバンド施設整備事業

補正額 1857万円  
 まちづくり推進課企画調整G

高規格道路厚真インターから上厚真市街地への交通アクセス拡幅工事による、ブロードバンド回線の付替基盤整備工事。

#### 財源内訳

その他 1857万円

### 農地耕作条件改善事業

補正額 630万円  
 産業経済課農業農村整備G

耕作条件を改善し担い手への農地集積促進を図る。また、農家が行う農地の大区画化や暗きょ排水整備を支援し、農業競争力強化を図る。

#### 財源内訳

町の財源 630万円

### 道営ほ場整備事業(補正事業)

補正額(事業負担金) 1億7625万円  
 事業費総額 14億1000万円  
 農業農村整備G

豊沢・豊共第1・豊共第2・幌内富里地区の道営ほ場整備に係る事業負担金。

#### ○補正事業の内容

##### 【豊沢地区】

・概要 区画整理付帯工1式  
 ・事業費 3000万円  
 ・事業負担金 375万円

##### 【豊共第1地区】

・概要 区画整理 35.0ha  
 ・事業費 3億9000万円  
 ・事業負担金 4875万円

##### 【豊共第2地区】

・概要 区画整理 40.0ha  
 排水路 272m  
 ・事業費 6億2000万円  
 ・事業負担金 7750万円

##### 【幌内富里地区】

・概要 区画整理 26.5ha  
 ・事業費 3億7000万円  
 ・事業負担金 4625万円

#### 財源内訳(4地区合計)

国道支出金 4223万円  
 分担金 4456万円  
 地方債 7700万円  
 町の財源 1246万円

# 第1回臨時会

第1回臨時会を1月30日に開催し、議案1件、承認1件、報告1件について審議しました。

■工事請負契約の変更  
〔富里地区浄水場建設工事（機械・電気）請負金額の変更〕

○補正後の金額  
8675万円

水質確保のため、当初補助事業対象外の「炭酸ガス注入装置」が補助事業対象となったため、請負金額を変更した。

■専決処分の報告（排水管等代替工事（2工区）請負金額の変更）

○請負金額  
10億7784万円

工事施工中、ケーブルの移設・地盤改良等により設計変更の必要が生じたため、専決処分をした旨の報告があった。

○請負金額  
10億8393万円

〔変更後〕  
10億8393万円

〔変更後〕  
6443万円

■専決処分の承認（平成29年度一般会計補正予算）

大雪による除雪作業実施のため、専決処分した除雪委託料（道路維持費）の補正予算を承認した。

○補正前の金額  
7175万円

○補正後の金額  
6443万円

# 全員協議会

全員協議会が1月30日に開催され、平成28年度決算に係る財務書類や条例の制定など、6項目について説明を受けました。

■平成28年度決算に係る財務書類について  
平成28年度決算に基づき財務書類4表（貸借対照表〔バランスシート〕、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の概要等について説明を受けた。

■条例の制定について  
平成30年第1回定例会に提案予定の条例について、制定理由や趣旨等の説明を受けた。

①厚真町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定  
〔制定理由〕  
法律に基づき、従来、厚生労働省令で定められていた基準を市町村が条例で定めることとなった。

②厚真町いきいきサポートサロン条例の制定  
〔制定理由〕  
在宅高齢者の引きこもりなどを予防し、高齢者が生きがいと希望をもつて自立した生活を営むことができるよう必要な事業を行い、高齢者の介護予防と福祉の向上に資するため、厚真町いきいきサポートサロンを設置する。

③厚真町担い手研修農場条例の制定  
〔制定理由〕  
本町の農業の持続的発展を目指し、新規就農者等農業の担い手の育成および確保を図るため、「厚真町担い手研修農場」を整備する。

④厚真町加賀谷厚三・明美奨学金給付条例の制定  
〔制定理由〕  
向上心を持ったこれからの時代を担う子どもたちのために「厚真町加賀谷厚三・明美教育振興基金」をもとに、厚真町に住所を有している者の子弟に対する学資資金の一助とするため、既設の奨学金と同様の内容により給付を行うため、条例を制定する。

⑤厚真町高齢者保健福祉計画・厚真町介護保険事業計画（素案）について  
〔計画の根拠〕  
老人福祉法および介護保険法では、「市町村老人福祉計画」と「市町村介護保険事業計画」を一

体のものとして作成することとされており、町では「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」として両計画を一体的に作成している。

〔計画の期間〕  
平成30年度から平成32年度まで（3カ年）

〔高齢者保健福祉計画推進のための重点施策〕  
①小規模多機能型居宅介護事業所の充実  
②自立支援、介護予防・重度化防止等に資する施策の取組と目標  
〔具体的な取組〕  
地域包括ケアシステムの構築／健康づくりと介護予防の推進／認知症高齢者対策の推進／安全・安心なまちづくりの推進

〔介護保険事業の重点項目〕  
①小規模多機能型居宅介護事業所の充実  
②高齢者共同福祉住宅による住まいの確保  
③総合事業サービスの充実

「厚真町担い手研修農場」を整備する。

新規就農支援対策事業において、地域おこし協力隊・農業支援員が農業研修を行う拠点施設である当該研修農場の設置および管理について規定するため、条例を制定する。

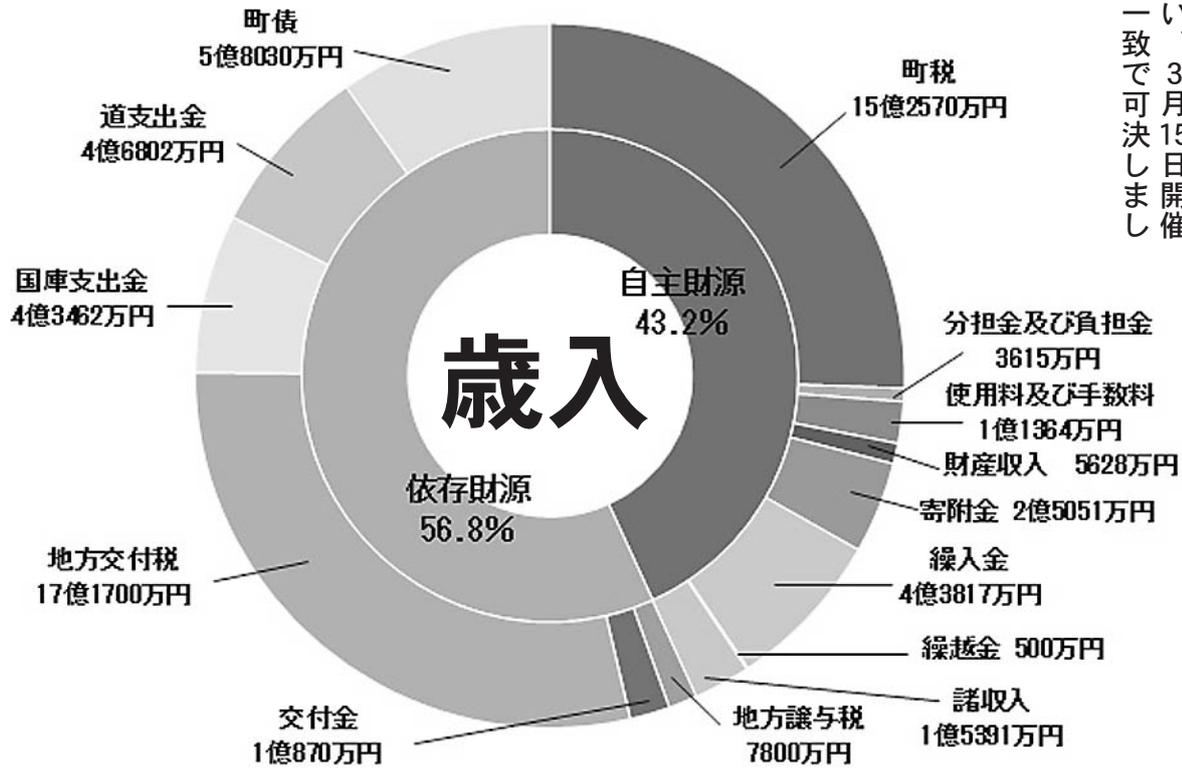
「厚真町加賀谷厚三・明美奨学金給付条例の制定」

「厚真町担い手研修農場」を整備する。

# 平成30年度予算

※予算額は万円以下を四捨五入して記載しています。

平成30年度各会計歳入歳出予算は、3月8日  
 の第14日の5日間、予算審査特別委員会（木戸嘉  
 則委員長）で慎重に審査を行い、3月15日開催  
 の第1回定例会において全会一致で可決しまし  
 た。



## 【別表】 交付金（内訳）

交付金	利子割交付金	50万円
	配当割交付金	120万円
	株式等譲渡所得割交付金	100万円
	地方消費税交付金	9000万円
	自動車取得税交付金	1400万円
	地方特例交付金	100万円
	交通安全対策特別交付金	100万円
	合計	1億870万円

（予算内容）

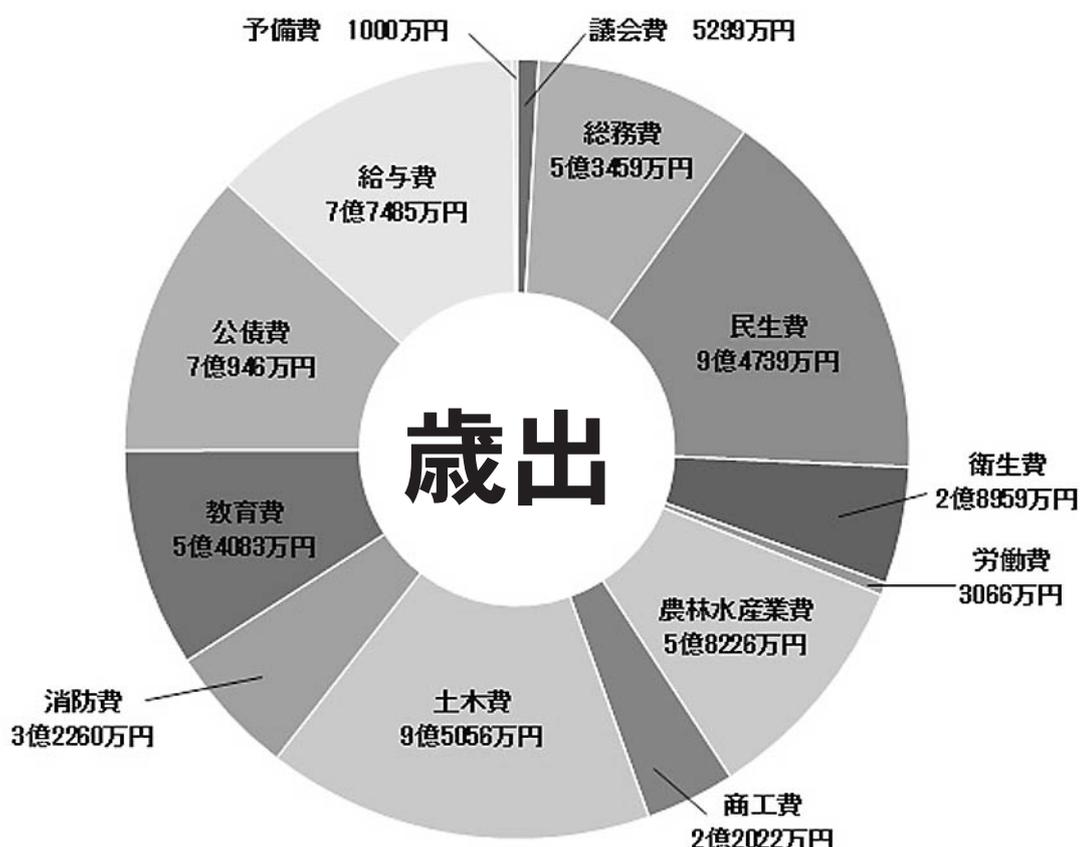
今年度の予算額は、一般会計・特別会計総額で80億9560万円と、前年度当初予算より約14億円減（-14.9%）の予算が計上されました。

一般会計は、青果物集出荷貯蔵施設整備事業や上厚真中央公園整備事業、高齢者共同福祉住宅建設事業、農業担い手研修農場整備事業等の施設建設終了により、前年度比9.1%減の59億6600万円となりました。

また、特別会計は、簡易水道事業等の減少により、前年度比27.9%減の21億2960万円となりました。

# 各会計総予算 80.9 億円 !!

一般会計総額 59 億 6600 万円 (前年度比△ 9.1%)



特別会計総額 21億 2960 万円 (前年度比△ 27.9%)

会計名	予算額	対前年度比(%)	
国民健康保険事業	5 億 6150 万円	△ 22.0	
後期高齢者医療	8420 万円	△ 0.9	
介護保険事業	保険事業	5 億 3560 万円	5.8
	介護サービス	2630 万円	51.1
簡易水道事業	7億 2000 万円	△ 49.3	
公共下水道事業	2 億 200 万円	△ 0.6	

## 基本目標・施策に基づく主な予算

「人が輝くあつま」	子育て、学校教育、社会教育等の充実、生涯スポーツの振興	8 億1311万円
「健やかで安心なあつま」	高齢者福祉・介護、社会福祉、障がい者福祉、保健・医療の充実	7 億7205万円
「みのり豊かなあつま」	農業・林業・水産業の振興、観光・交流のまちづくりの推進	8 億4342万円
「快適に暮らせるあつま」	都市基盤の充実、環境保全の推進、住環境確保・定住促進、消防・防災の強化、防犯・交通安全対策の強化	19億6125万円
「みんなで支えるあつま」	住民自治の推進、健全な行政運営の推進	11億1467万円

# 平成30年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 公共施設等総合管理事業

事業予算額 1300万円

総務課研修防災G

公共施設等の適正管理・景観配慮を目的として、未利用施設の除却(取り壊し)を実施する。

対象施設：旧幌里小中学校

財源内訳

町の財源 1300万円

## 庁舎周辺整備基本計画策定事業

事業予算額 200万円

総務課研修防災G

庁舎及び周辺施設整備基本構想に基づき、新築・増改築・除却に要する具体的な事業期間や費用、国からの財政支援措置等の財政状況を考慮した基本計画を策定。

対象施設：役場本庁舎・別館、総合福祉センター、青少年センター、児童会館、旧母子センター

財源内訳

町の財源 200万円

## 水泳プール改修事業

事業予算額 3150万円

生涯学習課学校教育G

昭和38年建築の中央小学校プールの改修と、昭和45年建築の上厚真小学校プールの移設・新設にかかる設計等を行う。

財源内訳

その他(公共施設維持補修基金繰入金) 3000万円

町の財源 150万円

## いけませ夏フェス事業

事業予算額 132万円

町民福祉課福祉G

障がい児とその家族、ボランティアや地域の人々などが融合し、活動を通して「理解し合うこと」、「助け合って生きるやさしい社会を目指すこと」を目的に本町で開催される「いけませ夏フェス」に対し支援を行う。

財源内訳

その他(いきいきふるさと推進事業助成金) 66万円

町の財源 66万円

## 厚真放課後児童クラブ整備事業

事業予算額 4210万円

生涯学習課社会教育G

放課後児童クラブ拠点施設は、老朽化が進み狭あいとなっているため、新たな施設を小学校周辺に整備し、安全性の向上と子育て支援環境の充実を図る。

財源内訳

地方債 4200万円

町の財源 10万円

## 冒険の杜<sup>もり</sup>プレパーク整備事業

事業予算額 56万円

生涯学習課社会教育G

新たに整備する厚真放課後児童クラブの周辺環境を生かし、保護者や住民の参画を得て手作りの遊び場を整備することで、子どもの発達を促す自然体験・学習環境の充実を図るとともに、地域住民の子育て参画を促進する。

財源内訳

町の財源 56万円

### 【質疑】

問 事業の概要を具体的に教えてほしい。

答 全国でプレパーク整備が進んでおり、古くなった公園や使われなくなった公園を、住民の参画を得て、手作りで子どもたちと一緒に遊び場を作ろうとするもので、講師を招へいする予定。

## チームスポーツクラブ育成支援(体育振興一般管理事業)

事業予算額 60万円

生涯学習課社会教育G

中学期における集団スポーツの実施環境の充実を図るため、特に課題が顕在化している野球を中心とする集団スポーツ競技のクラブチームの育成を支援する。

財源内訳

町の財源 60万円

### 【質疑】

問 中学校の授業の中体連とクラブチームの関連性は。

答 中学に野球部があり、両方所属しても中体連に参加はできるが、野球部がないと中体連は参加できない。

# 平成30年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 子育て世代包括支援センター運営事業

事業予算額 1551万円

町民福祉課子育て支援G

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援をするため「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊産婦等の母子保健や子育てに関し包括的な支援を行う。

### 財源内訳

国道支出金	1034万円
町の財源	517万円



## 観光協会運営事業

事業予算額 1581万円

産業経済課経済G

豊かな自然や農業などの地域資源を生かした体験型観光の実施やイベント等の開催・出展による交流人口の増加を推進するため、観光協会の法人化および運営支援により本町の産業振興を図る。

### 財源内訳

町の財源	1581万円
------	--------

### 【質疑】

問 町が300万円出資するということが、民間出資は求めないか。

答 その点については、観光協会の法人化に向けた準備の中で判断していただく。

問 観光協会の一般社団法人化で観光事業が大きく前進するが、グリーンツーリズムの事業も将来的に移管する考えか。

答 現時点では申し上げにくいですが、方向として官民の幅広い連携で地域観光を積極的に推進する、そういった法人を作っていきますと話し合っている。地域力創造アドバイザーを招へいして1年間検討する。

## 地域林政アドバイザー設置事業

事業予算額 354万円

産業経済課農林業G

平成31年度から本格的な制度運用が開始される「森林台帳」の整備を主体的に実施する。また、林業に関する専門的な知識を活用し、森林・林業行政を支援する。

### 財源内訳

町の財源	354万円
------	-------

## 環境保全林整備事業

事業予算額 324万円

産業経済課農林業G

環境保全林に新たな散策路を設置し、長距離コースを設定する。また、既存散策路の排水の改善や小川への橋の設置を実施する。

### 財源内訳

町の財源	324万円
------	-------

## 住宅地整備事業

事業予算額 216万円

まちづくり推進課総合戦略G

上厚真市街地において移住定住の促進を図るため、多様なニーズに対応した住宅地の供給に向けた整備（設計委託）を実施する。

### 財源内訳

国道支出金	108万円
町の財源	108万円

## サテライトオフィス運営事業

事業予算額 208万円

産業経済課経済G

テレワークを活用した魅力的な働き方の提供で、厚真町への人の流れと新たな雇用を生み出すため、「お試しサテライトオフィス」および「シェアサテライトオフィス」の活用を図る。

### 財源内訳

その他(施設利用料)	166万円
町の財源	42万円

# 平成30年度主要な新規事業予算(抜粋)

## 地域防災マネージャー設置事業

事業予算額 607万円

総務課研修防災G

町の防災・減災対策を推進するため、専門的知見を有する防災担当職員を任用する。

### 財源内訳

町の財源 607万円

### 【質疑】

問 地域防災マネージャーの設置とあるが、正職員か嘱託職員か。また、どこに配置されるか。

答 嘱託職員である。配属先は総務課で、災害以外の場合は総務課全般の仕事をしていただく。

問 これは町独自の取り組みなのか。また、今年度のマネージャーを使った具体的な事業は何か。

答 道内では、35市町村で49名の方を、地域防災マネージャーとして各市町村で設置をして採用している。今年度は、自治会等に出向いて一緒に地区の災害計画を立ててもらおうと考えている。

## 防災無線整備事業

事業予算額 470万円

総務課研修防災G

平成22年度に整備した全国瞬時警報システム(Jアラート)の処理能力が限界に達しており、広域にわたって影響が及ぶ大規模な地震発生時など処理情報量が膨大な場合には処理時間の遅延等が懸念されることから、受信機を新型受信機に更新する。

### 財源内訳

地方債 300万円

町の財源 170万円

## 学校給食センター整備事業

事業予算額 1935万円

学校給食センター

厨房機器および付属設備等の計画的な維持補修と、機器類の更新を図る。

### 財源内訳

国道支出金 1636万円

町の財源 299万円

## 創作館整備事業

事業予算額 390万円

生涯学習課社会教育G

創作館「じゅらく舎」(昭和52年建設)の改修および更新整備を行い、施設機能の維持向上を図る。

### 財源内訳

その他(公共施設維持補修基金繰入金)

300万円

町の財源

90万円

## 北海道150年記念事業

事業予算額 100万円

生涯学習課社会教育G

北海道命名150年を記念したイベントを開催し、本町における先人の功績と郷土の歴史を振り返り、町民の郷土愛を育むとともに文化歴史への学習振興を図る。

内容:本町にも足跡を残した幕末の探検家・松浦武四郎翁と厚真の歴史を併せた記念事業(講演会、パネル展、ウォーキング&バスツアー、図書室での特別コーナー設置など)を開催。

### 財源内訳

その他(いきいきふるさと推進事業助成金)

50万円

町の財源

50万円

## いきいきサポートサロン運営事業

事業予算額 270万円

町民福祉課福祉G

在宅高齢者の引きこもり等を予防し、高齢者が生きがいと希望を持って自立した生活を営むことができるよう必要な事業を行い、高齢者の介護予防と福祉の向上に資することを目的に設置した「厚真町いきいきサポートサロン」の適正な施設管理を行う。

### 財源内訳

町の財源

270万円

## 介護職員育成支援事業

事業予算額 90万円

町民福祉課福祉G

介護人材の技能の向上(資格取得支援)と町内福祉事業所等への定着の促進を図る。

### 財源内訳

町の財源

90万円

# 総務文教常任委員会

# 委員会 レポート

委員会は1月22日、下記の事件について現地調査および事務調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。  
(事務調査4件、現地調査2件より抜粋)



**プラネタリウム新機種の利用状況と今後の方向性について**

プラネタリウム機器を更新し、投影内容の充実を図ることにより、子どもたちをはじめ広く一般の方に宇宙や科学への興味や関心を持つ機会を提供する。

◇更新後の利用状況(平成29年10月～12月)  
リニューアルオープン

一般投影 127人  
天体観望会 49人  
団体利用(4団体) 11人

合計 343人

**町民スケートリンクの利用状況と今後の方向性について**

冬季における町民の健康増進とスケート競技の振興を図る。

◇主な利用状況(平成28年度)

①スケート記録会/小学生72人、中学生2人(計74人)

デジタル機能を生かした学習向け投影内容が充実したので、町内外の小・中学校へ広くPRし利用拡大を図りたい。また、プラネタリウムを活用した星空コンサート等を実施し、有効利用を図っていきたい。

**【主な質疑】**

問 プラネタリウムを利用した星空コンサートの内容は。

答 スクリーンに星空を投影し、ピアノやギターの生演奏を聴くもの。昨年10月の開催時には、途中で星空解説も行った。

**小規模多機能型居宅介護サービスの状況について**

◇サービスの状況(平成29年4月～12月)

登録者 24人  
月平均利用実績 約18人  
平均介護度 1.8

施設改修と製氷車の導入により、リンクコンディションと利便性が向上した。今後も適正な管理に努め、利用者の拡大とスピードスケートの振興を図っていく。

②スケート教室(4回開催)/小学生182人(延べ人数)

③スケート協会/団員14人



**介護予防・生活支援総合事業(外出支援の状況)について**

◇町の事業

- ・循環福祉バス「めぐるくん」
- ・高齢者バス助成事業
- ・通所型サービスC事業
- ・高齢者生活自立支援事業(いきいきサポート)

通所利用人数 一日平均 10人  
訪問介護利用人数 一日平均 6人  
宿泊利用人数 一日平均 2人  
宿泊日数 月平均 13日

◇人員配置の変動(案)

○法定基準の介護員数(日中) 5人  
(夜間) 宿泊者1人に対し夜勤者1人

【更新前】  
嘱託介護員3人、臨時介護員5人  
【更新後】  
嘱託介護員7人、臨時介護員5人(4人増)

**【主な質疑】**

問 利用者の目線に立った制度を検討しては、答 どういう制度を活用、施策が打てるか、町民福祉課全体で横断的に検討していきたい。

事業)

- ・精神障害回復者支援事業
- ・腎機能障害及び特定疾患者通院費助成事業
- ・重度心身障がい児等通院交通費助成事業
- ・特別支援学校通学交通費助成事業
- ・人工透析患者等送迎サービス事業
- ・移動支援事業
- ・介護タクシー利用補助事業

◇町社会福祉協議会の事業

- ・福祉車両貸出事業

# 委員会 レポート

## 産業建設常任委員会

委員会は1月26日に所管事務および現地調査を行い、その結果を第1回定例会に報告しました。  
(事務調査3件、現地調査2件より抜粋)

### 担い手研修農場整備 事業の進捗状況

旧富野小学校を活用し、町立の研修用ハウスやほ場等を整備して実践農場として活用し、新規就農者等の移住・定住促進を専門的かつ総合的に支援する受入拠点施設として、「担い手研修農場」を整備する。

また、新規就農支援をワンストップで行う専門的窓口となる「農業担い手育成センター」を設立し、研修農場の整備運営や研修体制の充実を図るとともに、就農時の農地等の確保や施設資材に係る支援制度を整備する。  
(平成30年4月開設予定)



### 【主な質疑】

問 就農時の農地等確保や施設資材費の支援策は。

答 町で農地取得は難しいので、制度関係等調査し考えていく。新規就農者のハウス施設、資材等は補助金を活用していく。

問 新規就農者の目標人数は。

答 地方創生総合戦略、総合計画に基づき、10年後までに20人を計画している。

問 新規就農者の年間所得270万円の根拠は。

答 第七次農業振興計画で一経営体540万円と定めてあり、新規就農者についてはおおむね270万円を目標としている。

国の次世代人材育成投資事業で、5年間、別に150万円支給される。



### 国営勇払東部農業用水再編対策事業の進捗状況

近代化営農に対応するため、厚幌ダムに新たな水源を求めて安定的な用水を供給するとともに、老朽化した用排水施設の整備を行い、農業生産性の向上と経営の安定化、地域用水機能の維持増進を図る。

### 【主な質疑】

問 平成29年度当初、平成30年には豊丘まで共用開始と説明があったが。

答 地盤等による路線変更等で予算を消費したため、

め、今年度は道路横断や川の横断を先行し、30年度は優先的に進めていく。

問 百年記念公園横など、工事後は元の形に復元するのか。

答 基本は原形復帰だが、協議しながら行う。

問 既存の施設は地元の要望に関係なく撤去するのか。

答 平成31年度整備工事完了後、旧施設の撤去工事が予定されている。

問 小水力発電について具体的に説明を。

答 導水路で分水発電し、売電で経費に充てる。出力は280KWの予定。

### 厚真町簡易水道事業 経営戦略の概要

将来にわたり水道サービスの提供を安定的に継続供給できるよう、投資資産・財源資産の将来予測、経営健全化、財源確保の方策の検討を行った。

検討の結果、町内2つの水道を統合し、代替水源として厚幌ダムに原水を得ることが最良との結論に達し、統合簡易水道事業に着手。現在、浄水場をはじめとした施設の建設中で、平成30年度に浄水場の共用開始を予定。

問 水道料の値上げはないのか。

答 一般会計の繰入をもって簡水の償還を圧縮することにより、平成41年までは今の水道料で対応するよう努力をする。

問 厚真、上厚真地区の建物。

答 新町浄水場はポンプ機能を持ち、上厚真浄水場は浄水機能を持つ施設として運営管理していく。

問 胆振東部の中で、1m<sup>3</sup>250円は高いの安いのか。

答 市町村が集めている料金としては高いほうである。



伊藤富志夫 議員

臨時職員制度

臨時職員の新制度に向けて改善は

答 新制度を調査研究し法的に対応する

■厚真町の正職員・臨時職員の雇用状況■

【正職員雇用状況】105人

【臨時職員雇用状況】

※町の資料をもとに  
伊藤議員が作成

	人数		
	2月1日 現在	勤務年数	
		1～5年目	5年以上
嘱託	50	26	24
常勤	35	18	17
臨時（検診等）	15	8	7
常勤（フル）	49	29	20
非常勤（パート）	75	60	15
計	174	115	59

平成32年4月から会計年度任用職員制度に移行するので、待遇、任用の仕方等を調査研究し、空白の問題は解決していきたい。新たな会計年度任用職員制度等は、しっかりと法的に対応していくべきと思っ

問 今年4月から労働契約法改定に伴い民間職場において5年以上の有期雇用労働者が本人届け出で無期雇用転換になる制度が始まる。また、2年後から公務職場においても臨時・非常勤職員制度が変わる。

町長 臨時職員等の任用期間は、6カ月更新で1年以内の任用としており、期間終了後、あらためて公募・選考・任用している。同じ職の任期延長あるいは同一職の継続任用ではない。処遇等についても、任用年数等で待遇は変わらない。

方法や待遇改善、正職員への移行の考えはあるか。

国保料

30年度以降の国保料はどう変わるか

答 今後算定される額は変わっていく

問 今年4月から国民健康保険事業の運営主体が町から北海道に移行する道からの仮算定は大幅な値上げが懸念されるが、平成30年度の国保料はどうなるか、経緯も含めて

町長・町民福祉課参事 決まったのは道への納付金だけで、保険料相当額は、最終的には7月の賦課段階で決まる。推計値での算定だが、激変緩和措置を入れて算定すると、30年度の1人当たり保険料は14万5825円となる見込みで、29年度と比べて1954円、1・36%の増となる。 今後は、所得等の変化で算定される額は変わっていくという前提で、今の情勢では、6年間の激変緩和措置が終わっても、厚真町としては間に合っていない状況が想定される。

また、平成30年度以降はどのように変わっていくか。さらに、保険料増額に対し、国・道への働きかけや町独自の法定外組み入れの考えは持っているか。

## 一般質問

ここが聞きたい

## 観光事業

# ツアーや食品・物品の開発は

**答** 開発する時期ではない



森田正樹 議員

問 厚幌ダム観光事業について、施政方針で、本年度は道道などの舗装工事や管理棟周辺の整備を行い、試験湛水終了後には完成式が予定されているなど、本町にとってビッグイベントがめじろ押しで、町民、ダム周辺自治会の期待は大きいと思う。

町内外からダムの景観を個人・団体が多く見学に訪れると思うが、町外へのPRを含めた観光関連企業とのツアーの実施や、厚真町観光協会との食品・物品（グッズ）などの開発の考えはあるか。

町長 新たな観光資源が生まれたことは、今後、交流人口の拡大に大変喜ばしいことである。

周辺環境整備は、実施予定のダム展望広場駐車帯整備工事を皮切りに、キャンプ場や展望台など観光拠点にふさわしい整備を行う考えで、大変期待されているが、現在、観光地でない厚真町が厚

幌ダムの景観だけで過大な期待を寄せることは避けなければならない。今まだ実際に状況がわからない中で、町が主導してのグッズ開発をする

時期ではない。民間の方々が自立的・自発的に行動する場合は、しっかりとサポートしていきたい。



現在、試験湛水が行われ、完成・供用開始が待たれている厚幌ダム



高田芳和 議員

子育て支援

こども園民営化検討の目的は

**答** 保護者の満足できる環境を整える

問 平成30年度の施政方針で、こども園の運営方法について、民営化も含めて多角的に検討していくと表明されたが、わずか数年の直営運営のこの段階で民営化を検討される目的は。背景に、こども園を利用している父母の皆様から今の幼児教育・保育サービスに対する不満あるいは要望等があるのか。

また、2園とも民営化を視野に入れているのか、1園のみなのか。運営形態が違ってくる、同じサービスを確保しているのか。

町長 ここ数年、急速に民間移管という大きな動きがあり、周辺部の1市4町でも圧倒的に民設民営あるいは公設民営の流れになっている。保護者の皆さんからの意見をきっかけとして、行政側の責任として、より質の高い、あるいは特色ある運営が可能であれば、それを導

入する時期にきているのではないかと、検討したい。ベストな方法を選択し、保護者の皆

さんの期待に十分満足できる、そんな環境を整えていかなければならないと考えている。

教育振興

小中一貫教育について

**答** 中学校卒業時の子ども像を共有

問 平成30年度の教育行政執行方針で、本町の子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた成長をさらに推進していくために、平成31年度から小中

一貫教育への一部移行について表明されたが、義務教育9年間の中でどのような像の児童・生徒の育成を目指すのか。

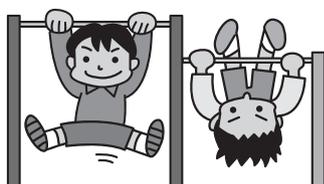
の育成につなげたい。

具体的には、30年度に検討を進めていく。児童・生徒の、未来に向かってたくましく生きる力を育んでいきたいと考えている。

に、平成31年度から小中一貫教育への一部移行について表明されたが、義務教育9年間の中でどのような像の児童・生徒の育成を目指すのか。

また、小中学校それぞれの連絡体制の確立が非常に重要だと認識しているが、どのような体制をもって連携されていくのか。英語教育の他の教科

教育長 小中学校を9年間の一つのまとまりととらえ、中学校卒業時点での目指す子ども像を小中学校が共有し、発達段階や連続性を踏まえたカリキュラムの編成、また、学校・家庭・地域が協働し、系統的で連続した教育活動を推進し、子どもたちの確かな学力、豊かな心の力、健康と体力の調和のとれた生き抜く力



## 一般質問

ここが聞きたい

問 北海道新聞に、札幌市では希望する町内会に対し、防犯カメラの購入補助をするという記事が掲載された。さらに、今後市でも直接設置を計画している。市民に行った調査では、「必要と思う」、「どちらかという必要

答

誤解を招く意識調査はできない

## 防犯カメラの設置へ向け調査を

### 防犯対策



下司義之 議員

と思う」を合わせると、97・3%が「必要」という回答である。

町内でも車上荒らしなどが多発しており、設置が予定されている小学校、こども園以外の設置についても、町民に対する意識調査を行っては。

町長 防犯カメラに対する社会の期待というのは、札幌市の例を見るまでもなく非常に犯罪に対する抑止力あるいは防犯上から、それぞれに高い評価があるのではないかと認識している。

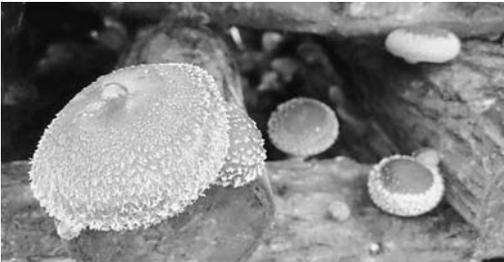
平成30年度、小学校、こども園に設置する防犯カメラのさまざまな面で効果を検証し、今後公の施設に拡大できるか検証したい。

ただ、今年すぐに設置を拡大していくという誤解を招くような意識調査はできないと思っている。

## 産業振興

### 特用林産物振興を

答 町で事業者を育成するのは難しい



人気が高まっている希少な原木シイタケ

問 特用林産物は、農山村における地域資源を活用した産業の一つとして地域経済に大きく寄与する可能性を秘めている。

現在、町としては積極的な振興の取り組みが行われていないが、国内には安定した需要もあることから、町内業者の育成はもとより、新規品目、新規参入者も含めて、総合的に取り組む必要があるのでは。

町長 本町における特用林産物としては、ほだ木によるシイタケ、木炭生産という2点に絞られるのではないかと思う。最近の統計データでは町内である程度の規模でシイタケの生産をされている方が2者で年間14トン、木炭は4業者で年間45トンの生産となっていて、それぞれ非常に減っている。

産地としては高い地位にあると思うが、担い手が減少している状況を踏まえると、今、町で産業

を強引に育成するのは難しいと思う。

※用語解説「特用林産物」  
北海道における特用林産物は、食用の「きのこ類・山菜類」、燃料の「木炭・薪」、その他「うるし・樹木抽出成分・薬用植物等」などがあり、道内の特用生産物全体の96%がきのことなっている。  
(北海道特用林産物振興方針の概要より)  
ハスカップも特用林産物に含まれる。

（こんな質問もしました）  
ゲストハウス

問 交流拠点としてのゲストハウス設置を。  
町長 今後建設待機中の古民家は、ゲストハウスとしての利用も期待できる。

町の年末年始休日  
問 町の年末年始休日変更を。

町長 住民サービスに都合がないよう、十分検討したい。

## 一般質問

ここが聞きたい

# 農業者認定制度について

## 答 ガイドラインに沿って認定する

**問** 政府は、平成25年から農林水産業・地域の活力再生プラン、具体的には4つの柱からなる経営所得安定対策を実施しており、その中に、農業所得安定対策の「畑作物の直接支払交付金」と、当年産の収入を下回った場合に交付される「米・畑作物の収入減少影響緩和交付金」などがある。

**町長** 認定農業者制度は、農業者が経営安定を図るため5年後の経営改善目標を記載し、厚真町農業経営改善計画認定要領に基づいて審査し、認定を行っている。

これらの交付金の対象要件は認定農業者などとなっているが、認定農業集積・集約化の促進、経営所得安定対策、農業経営基盤強化資金、機械導入の補助制度など、各種支援施策が対象となることから、今後も取り進めていく。

改善計画は、法律で定められているのは骨子、骨格であり、農水省のガイドラインに沿って運用していく。



吉岡茂樹 議員

## 農業振興

## 学校環境整備

# 校舎前通学路の拡張について

## 答 本年度中に拡幅の取りまとめをしたい

**問** 上厚真小学校の入口から校舎までの区間が、上り坂で車が交差できないくらい狭い。冬期間、車道はロードヒーティングだが歩道は積雪があり、転倒する児童がいる。また、同校は災害時には厚南地区7自治会の緊急避難施設に指定されていることから、車道・歩道ともに拡幅して整備する必要がある。

**拡幅の障害となつているプールが来年度移築する計画があるが、来年度以降に拡幅する考えがあるのか。**

**教育長** 上厚真小学校のプールは昭和45年に建築され、老朽化が進んでいる。平成31年度に新たな場所に建築する計画である。

**町長** 大きな支障物であったプールが移転することによって、

技術的には拡幅が可能かどうか、細かく詳細を検証しなければならぬ。できる限りの拡幅はしたいと思つているが、現状検証が必要であり、どういった拡張方策がとれるのかを含めて、30年度中に拡幅に当たつての取りまとめをしたいと考えている。



## 定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

### 第1回臨時議会 平成30年1月30日（火）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	富里地区浄水場建設工事（機械・電気）請負契約の変更	賛成全員
承認第1号	専決処分（平成29年度厚真町一般会計補正予算（第8号））	賛成全員
報告第1号	専決処分の報告（工事請負契約の変更）	—

### 第1回定例議会（第1号） 平成30年3月7日（水）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第12号	厚真町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定	賛成全員
議案第13号	厚真町いきいきサポートサロン条例の制定	賛成全員
議案第14号	厚真町担い手研修農場条例の制定	賛成全員
議案第15号	厚真町加賀谷厚三・明美奨学金給付条例の制定	賛成全員
議案第16号	厚真町個人情報保護条例の一部改正	賛成全員
議案第17号	厚真町非常勤公職者の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	賛成全員
議案第18号	厚真町税条例等の一部改正	賛成全員
議案第19号	厚真町手数料徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第20号	厚真町国民健康保険条例の一部改正（反対：伊藤議員）	賛成多数
議案第21号	厚真町介護保険条例の一部改正（反対：伊藤議員）	賛成多数
議案第22号	厚真町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	賛成全員
議案第23号	厚真町墓地使用条例の一部改正	賛成全員
議案第24号	厚真町都市公園条例の一部改正	賛成全員
議案第25号	厚真町道路占用料徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第26号	厚真町普通河川及び準用河川に関する占用料等徴収条例の一部改正	賛成全員
議案第27号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結	賛成全員
議案第28号	東胆振3町障害支援区分認定審査会共同設置規約の一部変更	賛成全員
議案第29号	東胆振3町介護認定審査会共同設置規約の一部変更	賛成全員
議案第30号	債権の放棄	賛成全員
議案第31号	債権の放棄	賛成全員
議案第32号	債権の放棄	賛成全員
議案第33号	町道路線の廃止	賛成全員
議案第34号	町道路線の認定	賛成全員
承認第1号	専決処分の承認（平成29年度厚真町一般会計補正予算（第9号））	承認全員
承認第2号	専決処分の承認（平成29年度厚真町一般会計補正予算（第10号））	承認全員

## 定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

### 第1回定例議会（第2号）平成30年3月8日（木）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第7号	平成29年度厚真町一般会計補正予算（第11号） （反対：高田議員）	賛成多数
議案第8号	平成29年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	賛成全員
議案第9号	平成29年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第4号））	賛成全員
議案第10号	平成29年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	賛成全員
議案第11号	平成29年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	賛成全員
議案第1号	平成30年度厚真町一般会計予算	予算審査特別 委員会へ付託
議案第2号	平成30年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第3号	平成30年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第4号	平成30年度厚真町介護保険事業特別会計予算	
議案第5号	平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計予算	
議案第6号	平成30年度厚真町公共下水道事業特別会計予算	

### 第1回定例議会（第3号）平成30年3月15日（木）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	平成30年度厚真町一般会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第2号	平成30年度厚真町国民健康保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第3号	平成30年度厚真町後期高齢者医療特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第4号	平成30年度厚真町介護保険事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第5号	平成30年度厚真町簡易水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第6号	平成30年度厚真町公共下水道事業特別会計予算（予算審査特別委員会報告）	賛成全員
議案第35号	平成29年度厚真町一般会計補正予算（第12号）	賛成全員

## 議会を傍聴しませんか

定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に行われます。臨時会は、審議する案件が緊急のときなど、必要に応じて行われます。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、定例会・臨時会とも、議会ホームページで議会の様子を生中継していますので、インターネットでもご覧いただけます。

#### ■厚真町議会ホームページ

<http://www.town.atsuma.lg.jp/gikai/>

#### ■問い合わせ先

厚真町議会事務局（☎ 27 - 2485）



# 議会のうごき

## 【1月】

- 6日 厚真消防出初式
- 7日 第70回厚真町成人式
- 8日 交通安全合同新年交礼会
- 10日 平成30年あつま新年交礼会
- 11日 交通安全祈願祭、議会広報特別委員会
- 13日 平成30年浜厚真救難所出初式
- 18日 議会広報特別委員会
- 19日 厚真町商工会新年会
- 21日 第11回あつま国際雪上3本引き大会
- 22日 総務文教常任委員会、青果物集出荷予冷貯蔵施設竣工式・落成式
- 25日 現金出納例月検査、議会広報特別委員会
- 26日 産業建設常任委員会、厚真町老人クラブ連合会新年交流会
- 30日 第1回臨時会、全員協議会、第83回胆振東部市町議会懇談会

## 【2月】

- 2日 厚真町農業再生協議会臨時総会

- 3日 ランタン祭り・スターフェスタ2018 in あつま合同開会式
- 12日 東京厚真会総会
- 15日 第53回厚真町婦人大会
- 19日 「北海道林業大学校(仮称)」誘致共同提案書提出同行
- 22日 北海道町村等監査委員協議会定例会、北海道電力厚真火力発電所長・次長来庁
- 25日 現金出納例月検査
- 27日 平成30年度厚苦小牧広域森林組合通常総代会
- 28日 議会運営委員会、議員会役員会

## 【3月】

- 5日 「北海道林業大学校(仮称)」誘致に係る要望活動
- 7日 第1回定例会(～15日)
- 8日 予算審査特別委員会(～14日)
- 14日 第38回厚南中学校卒業式
- 15日 議会運営委員会、議員協議会、議員会総会
- 16日 上厚真小学校第110回卒業証書授与式
- 20日 厚真中央小学校卒業式
- 23日 安平・厚真行政事務組合議会定例会
- 26日 胆振東部消防組合議会定例会、現金出納例月検査
- 27日 胆振東部日高西部衛生組合議会定例会
- 30日 厚真町農業再生協議会通常総会、厚真町農業振興協議会

## 文化活動団体紹介

## 華道同好会(いけばな)

紹介者：上田 敦子さん

華道同好会は、大人7名、中学生4名、小学生8名の会員で活動しており、お稽古は月2～3回で、「小原流いけばな」を通じて貴重な伝統文化を学んでいます。町内の文化祭いけばな展や、来場者の方に楽しんでいただけるフラワーアレンジメント体験講習会を開催しています。また、去年は苫信厚真支店様にお声がけをいただき、ロビーで「いけばな展」を行いました。

「いけばな」は資格取得が容易なこともあり、子どもの習いごとにも人気で、当会も園児や小学生の入会が多くなりました。お花を飾って花の名前を覚えたり、季節感や色彩感覚も身についたり、生涯学習としても最適な「いけばな」を始めてみてはいかがでしょうか。

会員は随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

- ◆昭和53年設立
- ◆代表者 上田 敦子
- ◆活動日時  
毎週木曜日 午後4時～午後8時  
総合福祉センター老人室
- ◆連絡先 上田 (☎27-3452)

